

受益者の皆様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「米国リート・プレミアムファンド（毎月分配型）通貨プレミアム・コース」は、2025年4月21日に信託期間が満了し償還となりました。

当ファンドは外国投資信託「UBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）II－USリート・プレミアムファンド（通貨プレミアム・クラス）」を通じて、米国リートとオプション取引を組合わせたカバードコール戦略を実質的に構築することで相対的に高い配当利回りの獲得と中長期的な信託財産の成長、およびオプション料（プレミアム）収入の獲得を目指して運用を行います。また、米ドル（対円）の為替変動とオプション取引を組合わせたカバードコール戦略を構築することで、円から米ドルへの投資成果に加え、オプション料（プレミアム）収入の獲得を目指します。当作成対象期間につきましてもそれに沿った運用を行いました。

ここに運用状況をご報告申し上げます。これまでのご愛顧に対しまして、厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

<閲覧方法>

右記URL⇒「ファンド情報」⇒「ファンド情報トップ」⇒当ファンド名を選択または検索⇒「各種資料のダウンロード」⇒「運用報告書（全体版）」を選択

# 米国リート・プレミアムファンド （毎月分配型） 通貨プレミアム・コース

商品分類（追加型投信／海外／不動産投信（リート））

第26作成期

第149期（決算日 2025年2月20日）

第150期（決算日 2025年3月21日）

第151期（償還日 2025年4月21日）

作成対象期間：2025年1月21日～2025年4月21日

第151期末（2025年4月21日）	
償還価額	838円59銭
純資産総額	1,904百万円
第149期～第151期	
騰落率	△9.0%
分配金合計	50円

（注）騰落率は収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。



T&Dアセットマネジメント株式会社

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

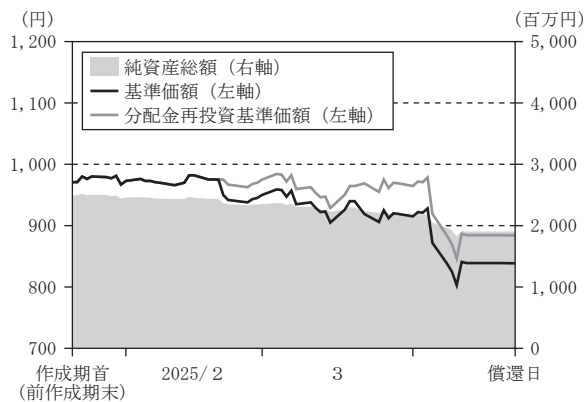
お問い合わせ先

投信営業部 03-6722-4810

（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

<https://www.tdasset.co.jp/>

## 基準価額等の推移



第149期首：971円

第151期末：838円59銭（既払分配金50円）

騰落率：△9.0%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、作成期首（2025年1月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

## 基準価額の主な変動要因

高位に組入れている「UBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－USリート・プレミアムファンド（通貨プレミアム・クラス）」において、米国リートカバードコール戦略や、通貨カバードコール戦略はプラス寄与しましたが、米国リート価格の下落や米ドル円為替の変動のマイナス寄与が上回った結果、基準価額（分配金再投資ベース）は下落しました。

## 1 万口当たりの費用明細

項目	第149期～第151期		項目の概要
	2025/1/21～2025/4/21		
	金額	比率	
平均基準価額	946円		作成期間の平均基準価額です。
(a) 信託報酬 ( 投信会社 ) ( 販売会社 ) ( 受託会社 )	3円 ( 1 ) ( 2 ) ( 0 )	0.337% (0.110) (0.219) (0.008)	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料 ( 投資信託証券 )	3 ( 3 )	0.270 (0.270)	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料／作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用 ( 監査費用 )	0 ( 0 )	0.004 (0.004)	(c) その他費用＝作成期間のその他費用／作成期間の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	6	0.611	

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。

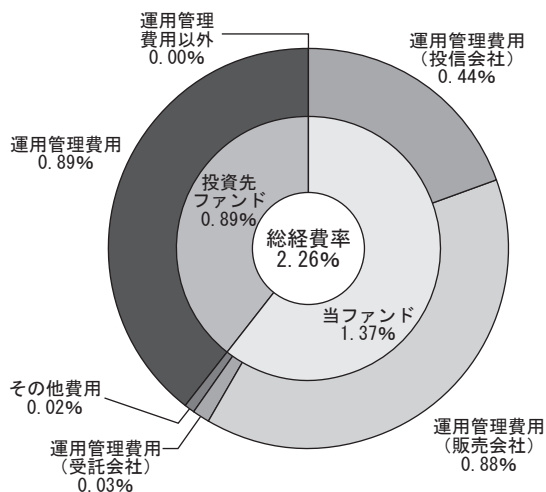
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

### (参考情報)

#### ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は、2.26%です。



総経費率 (①+②+③)	2.26%
①当ファンドの費用の比率	1.37%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.89%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

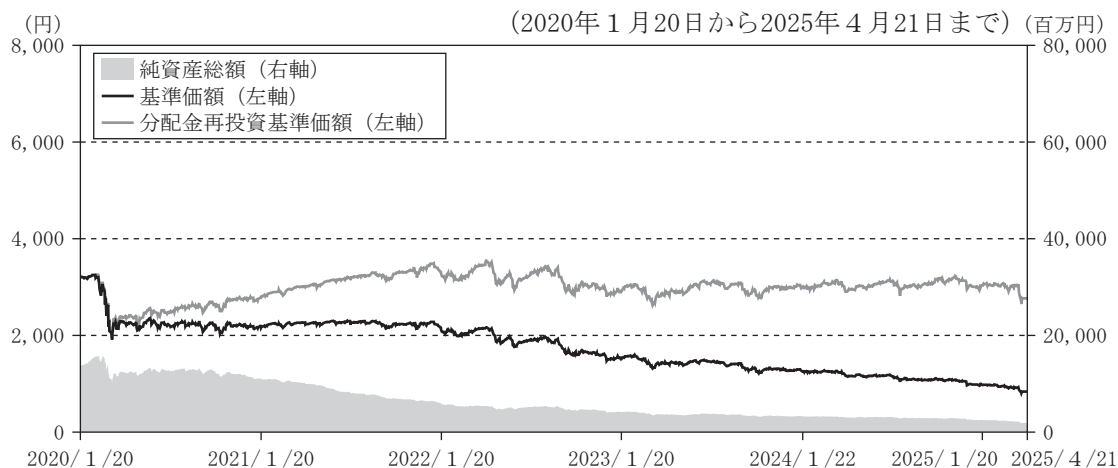
(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く）です。

(注) ①の費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移



- (注) 分配金再投資基準価額は、2020年1月20日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
- (注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

	2020年1月20日 期初	2021年1月20日 決算日	2022年1月20日 決算日	2023年1月20日 決算日	2024年1月22日 決算日	2025年1月20日 決算日	2025年4月21日 償還日
基準価額 (分配落) (円)	3,207	2,159	2,104	1,511	1,255	971	838.59
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	570	420	390	300	300	50
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△ 13.3	17.7	△ 11.1	3.2	1.2	△ 9.0
純資産総額 (百万円)	13,684	10,929	5,810	4,097	3,272	2,490	1,904

- (注) 当ファンドは米国リートとオプション取引を組合わせた運用を行っており、比較対象として適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

### ■ 米国リート市場

米国リート市場は下落しました。作成期初から2025年2月末にかけては1月のISM（米供給管理協会）非製造業景況指数が悪化したことや、2月の米消費者信頼感指数が市場予想を下回り、米長期金利が低下したことなどから同市場は上昇しました。3月はトランプ米大統領の高関税を巡る不透明感や、米メディアのインタビューでトランプ米大統領が、関税などにより景気後退が発生するリスクはないかとの質問に対し直接的な回答を避ける説明で景気後退懸念を高める内容と受け止められたことなどから、同市場は下落しました。償還日にかけては、トランプ米大統領が発表した相互関税が市場の想定よりも厳しい内容となり、世界経済の悪化や貿易戦争への警戒が強まったことから下落しました。その後相互関税の上乗せ部分について、一部の国・地域に90日間の一時停止を発表したことにより一部値を戻す展開となりました。

### ■ 為替動向

米ドルは対円で下落しました。作成期首から2025年2月末にかけては、1月のISM非製造業景況感指数が悪化したことや、トランプ米大統領による関税が即時発効に至らなかったことでインフレ加速への警戒が落ち着き、米長期金利が低下し、円高米ドル安となりました。3月は中旬に日銀の追加利上げ観測などから円長期金利が上昇したことなどにより円高米ドル安となる局面もありましたが、米政府が4月2日に発動する予定の関税について、対象国や品目が限定的になるとの報道を受けて米長期金利が上昇し、円安米ドル高となりました。償還日にかけては、トランプ米大統領が相互関税を発表したことで、米景気後退への懸念が高まり、円買いドル売り圧力が増加しました。その後、一部の国・地域に90日間の一時停止を発表しましたが、中国に対しては厳しい関税を課すことが明らかとなり、米経済悪化の懸念が一段と強まったことから米ドルは対円でさらに下落しました。

### ■ 国内短期金融市場

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、作成期首の0.35%から償還日は0.39%となりました。作成期中においては、日銀の追加利上げに対する思惑や国庫短期証券の入札に伴う需給悪化懸念などが金利上昇要因となり、金融機関の担保需要などが金利低下要因となりました。

## 当該投資信託のポートフォリオ

---

### ■ 当ファンド

作成期を通じて、「UBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）II－USリート・プレミアムファンド（通貨プレミアム・クラス）」を概ね高位に組入れ、「T&Dマネープールマザーファンド」にも投資を行いました。2025年4月上旬に、外国投資信託証券の償還に合わせて、同マザーファンドを全売却し、償還に向けて、安定運用へ移行しました。

### ■ UBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）II－USリート・プレミアムファンド（通貨プレミアム・クラス）

主としてUBS AG ロンドン支店を相手先とする担保付スワップ取引を高位に組入れ、当該取引を通じて実質的に、iシェアーズ 米国不動産ETFと米国リート・オプション取引に加えて、為替オプション取引の投資成果の享受を目指す運用を行いました。償還に向け、2025年4月より保有資産の売却等を行い、安定運用へ移行しました。

### ■ T&Dマネープールマザーファンド

国庫短期証券を60%程度組入れました。残りの資産については、コール・ローン等で運用を行いました。

\* iShares® (iシェアーズ®) はブラックロックの登録商標です。ブラックロックは「米国リート・プレミアムファンド（毎月分配型）通貨プレミアム・コース」について出資、発行、保証、販売および販売の促進をするものではありません。またブラックロックは、「米国リート・プレミアムファンド（毎月分配型）通貨プレミアム・コース」への投資についてなんら意見を表明、あるいは保証するものではなく、ファンドにかかる業務、営業、トレーディングおよび販売に関して、一切責任を負うものではありません。

## 当該投資信託のベンチマークとの差異

---

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

## 分配金

1万口当たりの分配金（税込み）は分配可能額、基準価額水準等を勘案し、第149期、第150期ともに25円とさせていただきます。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたしました。

（単位：円・％、1万口当たり、税引前）

項目	第149期	第150期
	2025年1月21日 ～2025年2月20日	2025年2月21日 ～2025年3月21日
当期分配金	25	25
（対基準価額比率）	2.564	2.648
当期の収益	25	25
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	1,124	1,128

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

（注）投資信託の計理上、翌期繰越分配対象額が基準価額を上回っている場合がありますが、基準価額を超える分配金をお支払いすることはありません。

## お知らせ

2025年4月1日適用で、投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、信託約款の変更を行いました。

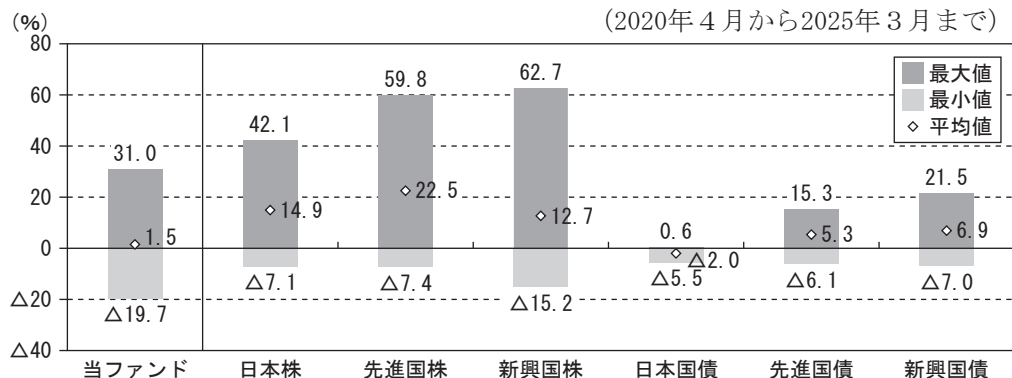
2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

## 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／不動産投信（リート）	
信託期間	2012年8月31日から2025年4月21日まで	
運用方針	安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。	
主要運用対象	外国投資信託証券である「UBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－USリート・プレミアムファンド（通貨プレミアム・クラス）」および親投資信託である「T&Dマネープールマザーファンド」を主要投資対象とします。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。	
	UBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－USリート・プレミアムファンド（通貨プレミアム・クラス）	主として担保付スワップ取引を投資対象とし、当該取引を通じて、実質的に、iシェアーズ米国不動産ETFと米国リート・オプション取引に加えて、為替オプション取引の投資成果と、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。
	T&Dマネープールマザーファンド	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	毎決算時（毎月20日、休業日の場合は翌営業日）に分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。 分配金額は、分配対象額の範囲内で委託会社が決定するものとし、原則として、インカム収益を中心に分配を行うことを目指します。ただし、基準価額水準等によっては、売買益（評価益を含みます。）が中心となる場合があります。	

## 【参考情報】

### ■ 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注) 上記は、2020年4月から2025年3月の5年間の各月末における直近1年間騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

(注) 当ファンドおよび代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものであり、全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 騰落率は直近月末から60ヵ月遡って算出した結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

### ○各資産クラスの指数

日本株・・・東証株価指数（TOPIX）（配当込み）※1

先進国株・・・MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）※2

新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）※3

日本国債・・・NOMURA-BPI国債※4

先進国債・・・FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）※5

新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）※6

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。

※1 東証株価指数（TOPIX）とは、株式会社JPX総研が算出する株価指数で、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。TOPIXに関する一切の知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研に帰属します。

※2 MSCIコクサイ・インデックスはMSCIが開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国の株式市場の動きを捉える指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCIに帰属します。

※3 MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCIが開発した新興国の株式市場の動きを捉える株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCIに帰属します。

※4 NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、日本で発行されている公募利付国債の市場全体を表す投資収益指数です。その知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、対象インデックスを用いて行われるT&Dアセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

※5 FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

※6 JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイドは、JPモルガン社が算出し公表している、現地通貨建てのエマージング・マーケット債で構成されている指数です。同指数の著作権はJPモルガン社に帰属します。

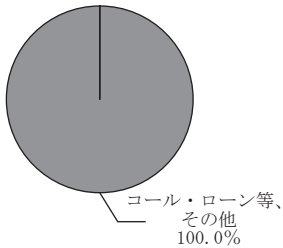
# 当該投資信託のデータ

## 当該ファンドの組入資産の内容

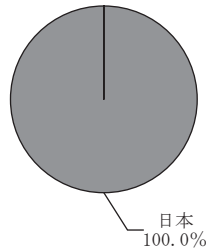
### ■ 組入（上位）ファンド（銘柄）

償還時における組入れはありません。

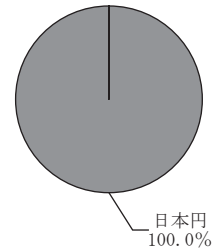
### ■ 資産別配分



### ■ 国別配分



### ■ 通貨別配分



(注) 各配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 国別配分は発行国を表示しております。

※詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）をご覧ください。

## 純資産等

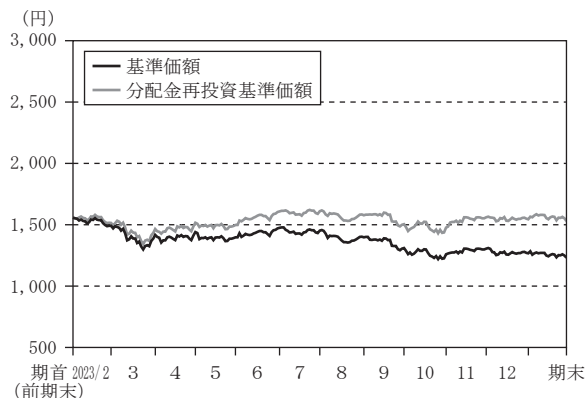
項目	第149期末	第150期末	償還時
	2025年2月20日	2025年3月21日	2025年4月21日
純資産総額	2,366,249,380円	2,238,435,168円	1,904,460,986円
受益権総口数	24,918,391,792口	24,344,560,456口	22,710,258,003口
1万口当たり基準価額	950円	919円	—
1万口当たり償還価額	—	—	838円59銭

(注) 当作成期間（第149期～償還時）中における追加設定元本額は669,217,632円、同解約元本額は3,596,091,310円です。

## 組入上位ファンドの概要

UBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ-USリート・プレミアムファンド（通貨プレミアム・クラス）（2023年2月1日から2024年1月31日まで）

### ■ 基準価額の推移



(注) 分配金再投資基準価額は、期首（2023年1月31日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

以下はUBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ-USリート・プレミアムファンドの状況です。

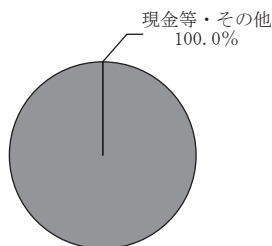
### ■ スワップ取引の状況

クラス	想定元本額	評価額	比率
円ヘッジ・クラス	1,949,738,055円	348,400,643円	10.1%
通貨プレミアム・クラス	25,225,279,518	3,104,021,096	89.9

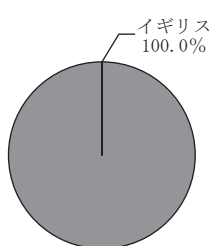
### ■ 1口当たりの費用明細

1口当たりの費用明細に相当する情報がないため、開示することができません。

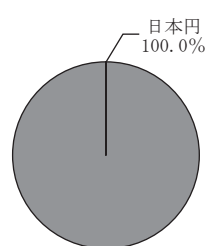
### ■ 資産別配分



### ■ 国別配分



### ■ 通貨別配分



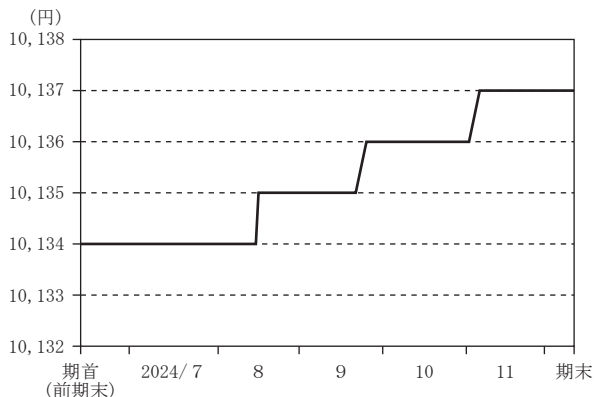
(注) スワップ取引の状況および各配分のデータは直近の決算日現在のものです。日付は現地基準です。

(注) スワップ取引の状況および各配分の比率は純資産総額に対する評価額の比率です。

※スワップ取引および各配分はバンクオブニューヨークメロン証券およびザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン（シンガポール支店）より入手したデータをもとに作成したものです。

※詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）をご覧くださいませ。

■ 基準価額の推移



■ 組入銘柄 (組入銘柄数：1銘柄)

銘柄名	種類	利率	償還日	比率
第1207回国庫短期証券	国債	-%	2025/1/20	61.4%

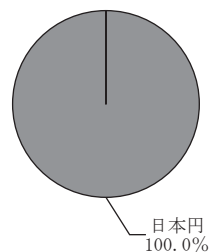
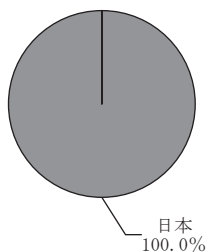
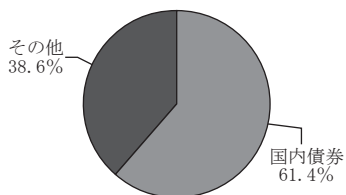
■ 1万口当たりの費用明細

当期において発生した費用はありません。

■ 資産別配分

■ 国別配分

■ 通貨別配分



(注) 組入銘柄および各配分のデータは直近の決算日現在のものです。  
 (注) 組入銘柄および各配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。  
 (注) 国別配分は発行国を表示しております。  
 ※詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。